



第21回りゅうぎん紅型デザインコンテスト 大賞
「森を生きる」新垣 優香

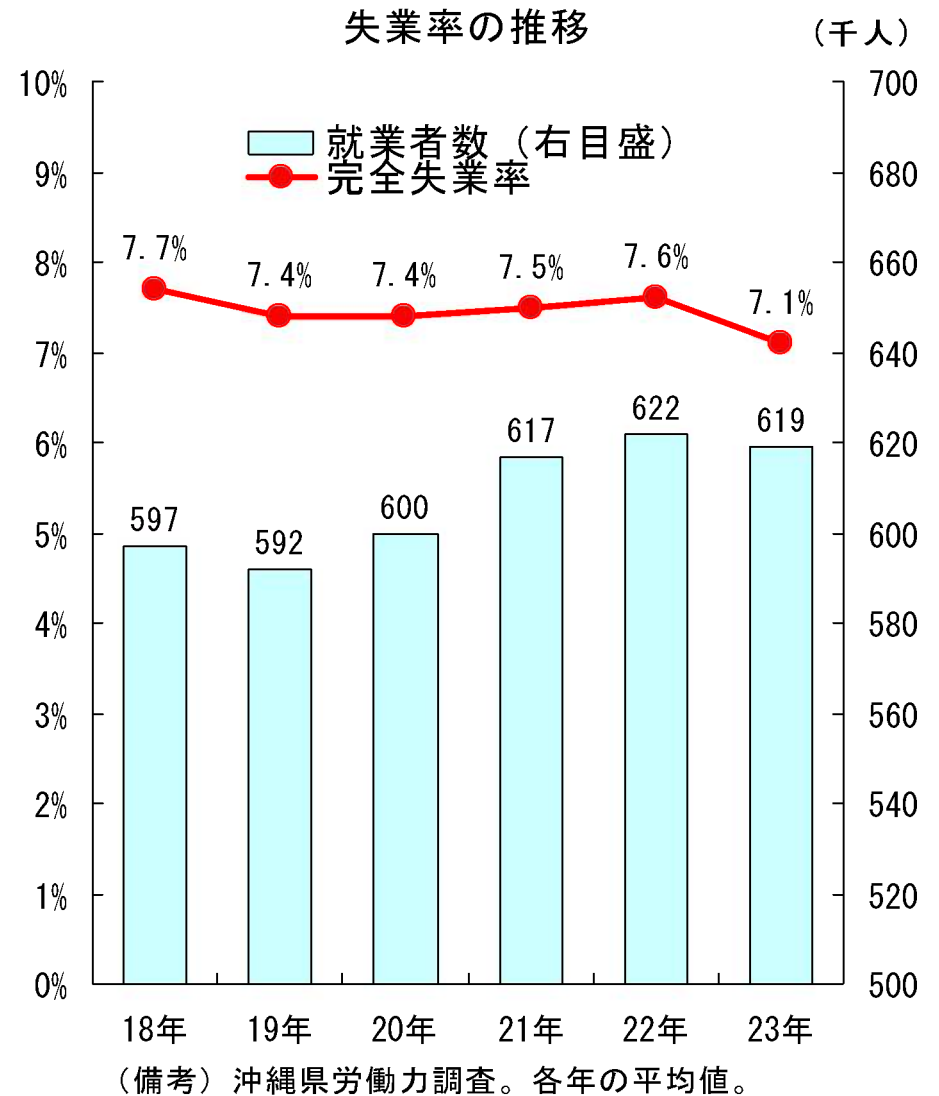
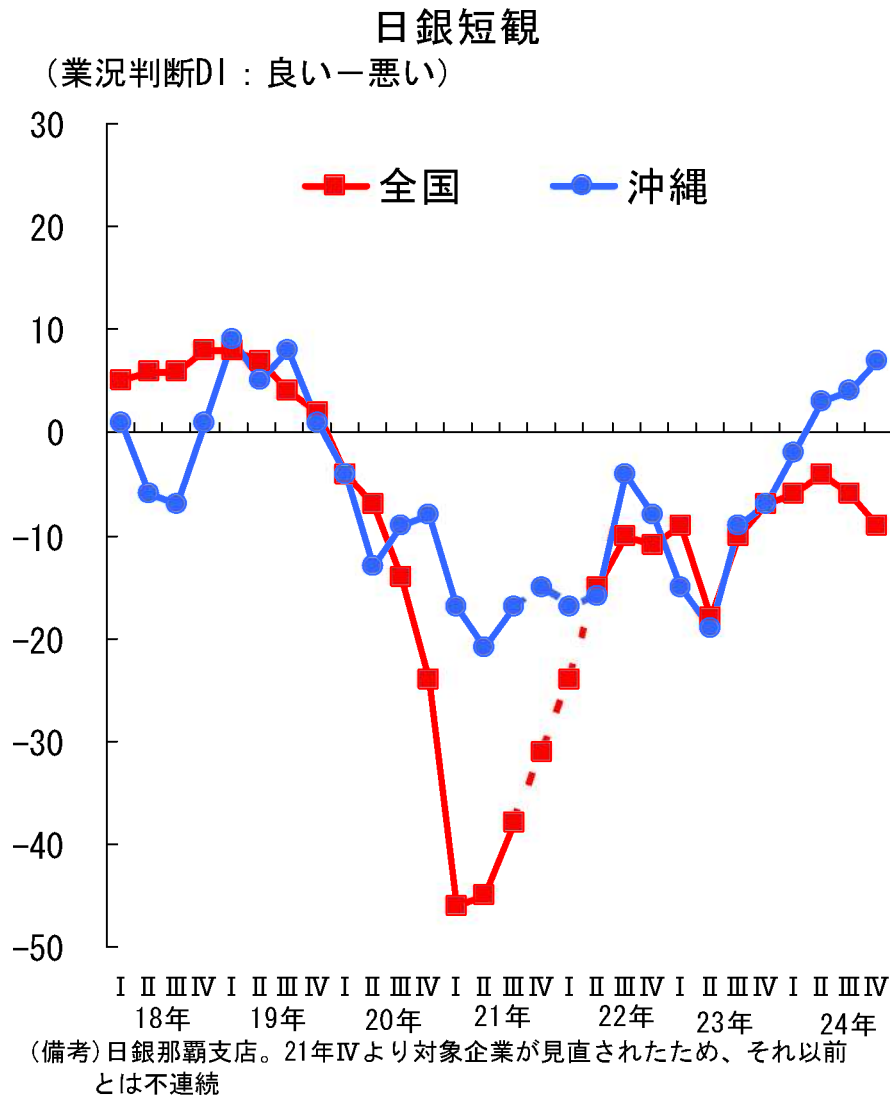
りゅうぎん経営説明会

平成24年9月期



■ 県内景気動向

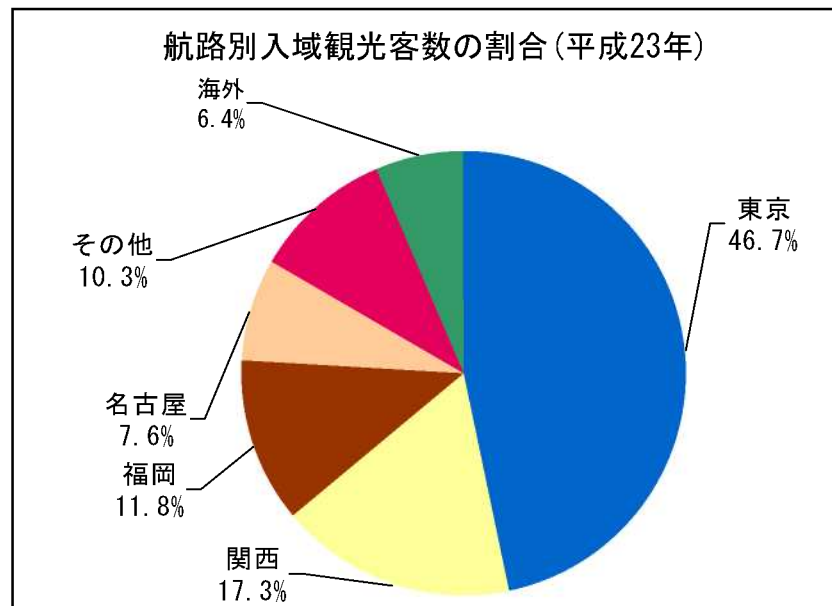
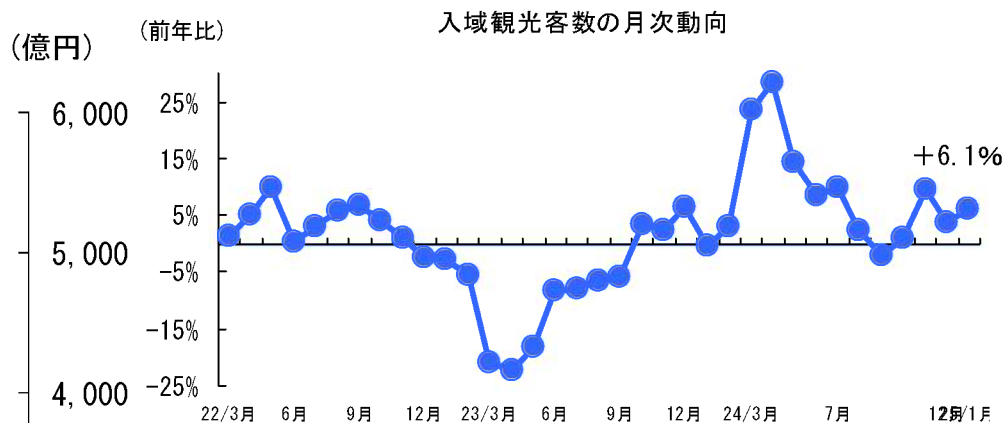
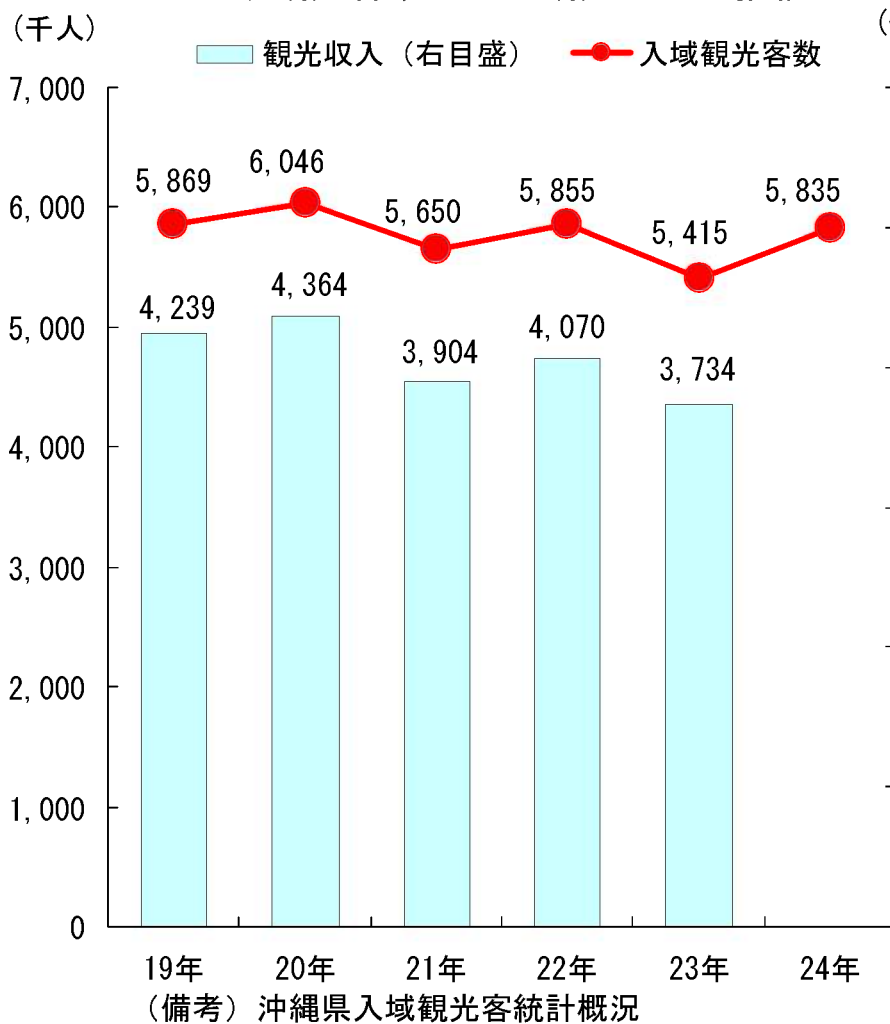
個人消費や観光の堅調な推移からDIはプラス



■ 観光

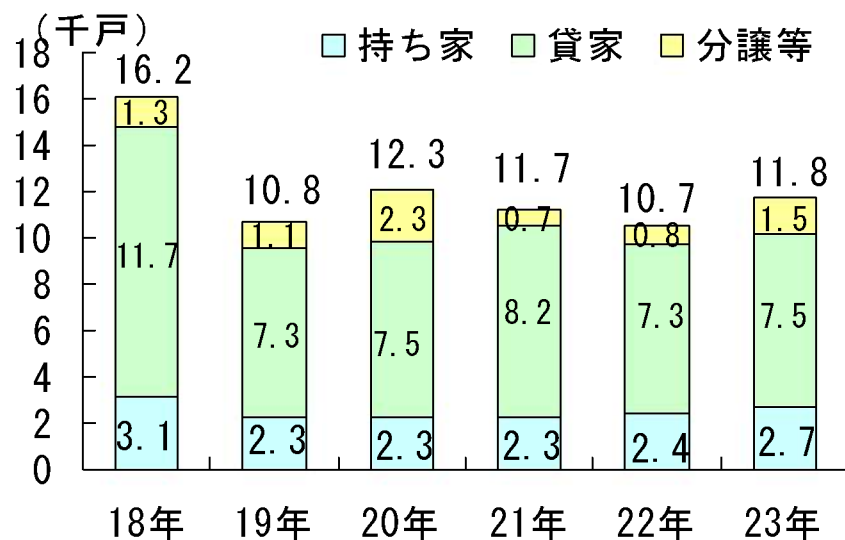
平成24年は国内LCCの誘客効果、海外航空路線拡充や大型クルーズ船寄港等により好調に推移

入域観光客数および観光収入の推移



人口や世帯数の増加を背景に新設住宅着工戸数が増加

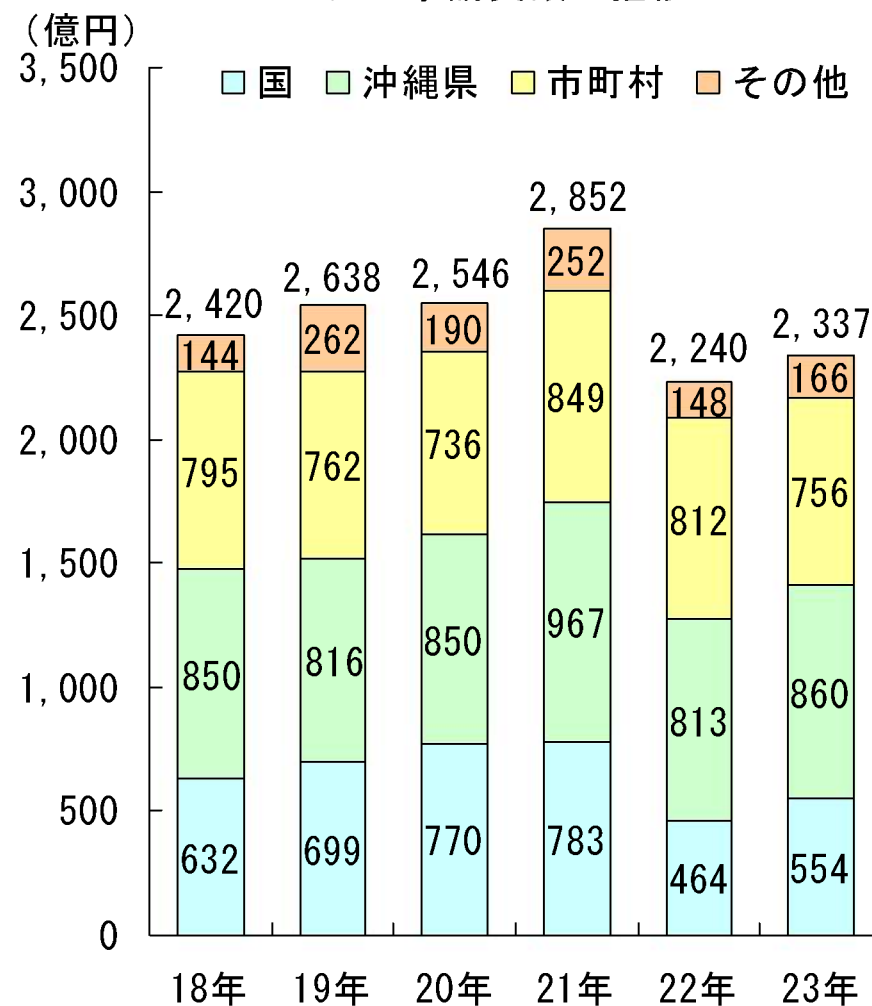
県内新設住宅着工戸数の推移



県内建築着工床面積の推移



公共工事請負額の推移



■ トップライン収益

預金利回り低下に伴う預貸金収支の改善により「コア業務純益」は増加

(単位：億円)

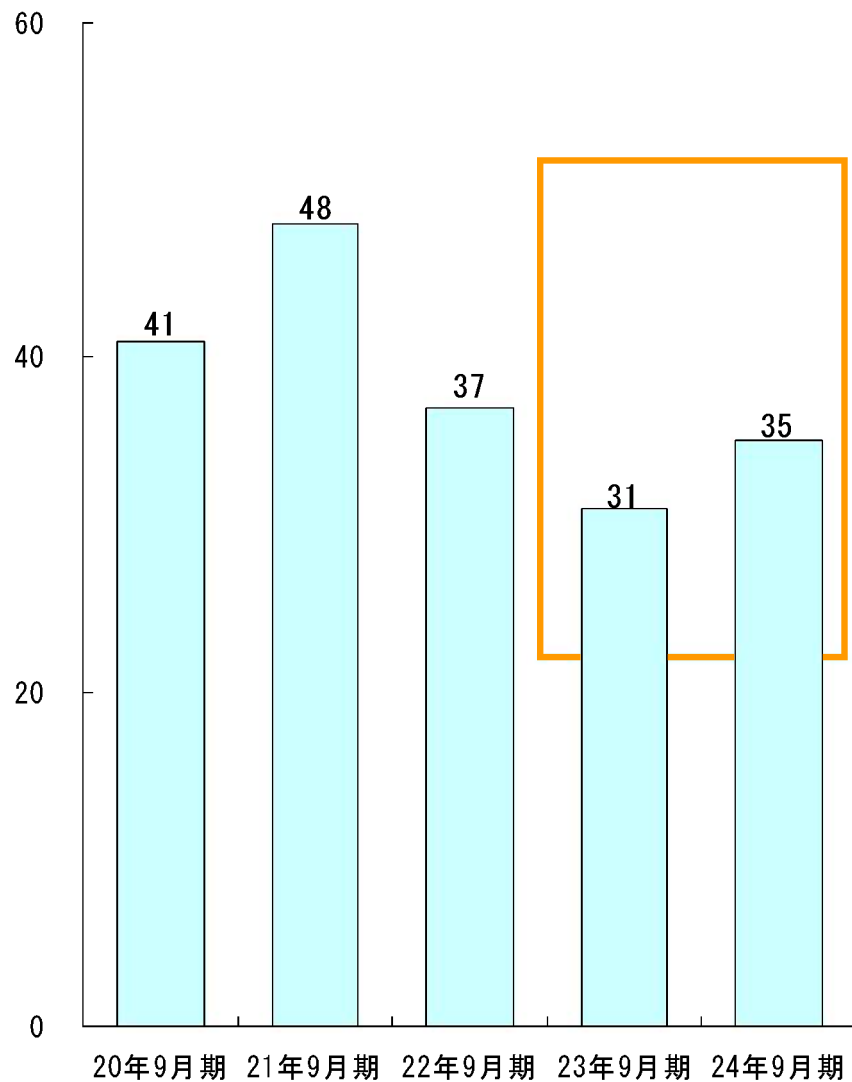
	24年9月期	23年9月期	増減
業務粗利益	144	141	3
預貸金収支	123	116	7
有価証券利息配当金	12	14	-2
役務取引等利益	5	7	-1
国債等債券損益	0	1	0
その他	1	1	0
経費	108	107	0
人件費	51	51	0
物件費	51	50	1
税金	5	5	0
一般貸倒引当金繰入	-1	-	-1
業務純益	37	33	4
実質業務純益 (一般貸倒繰入前)	36	33	2
コア業務純益 (除く国債等債券損益)	35	31	3

「コア業務純益」 = 「業務純益」 + 「一般貸倒引当金」 - 「国債等債券損益」

■ コア業務純益の増減要因

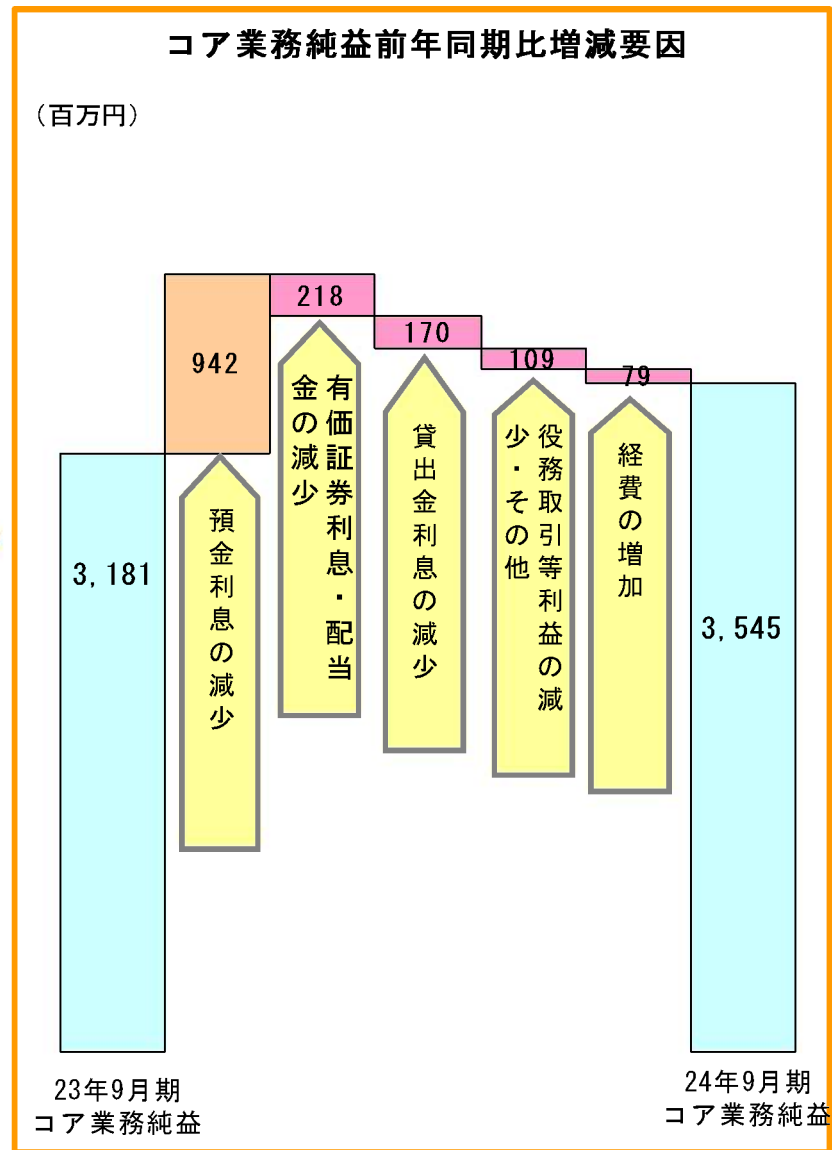
(億円)

コア業務純益の推移



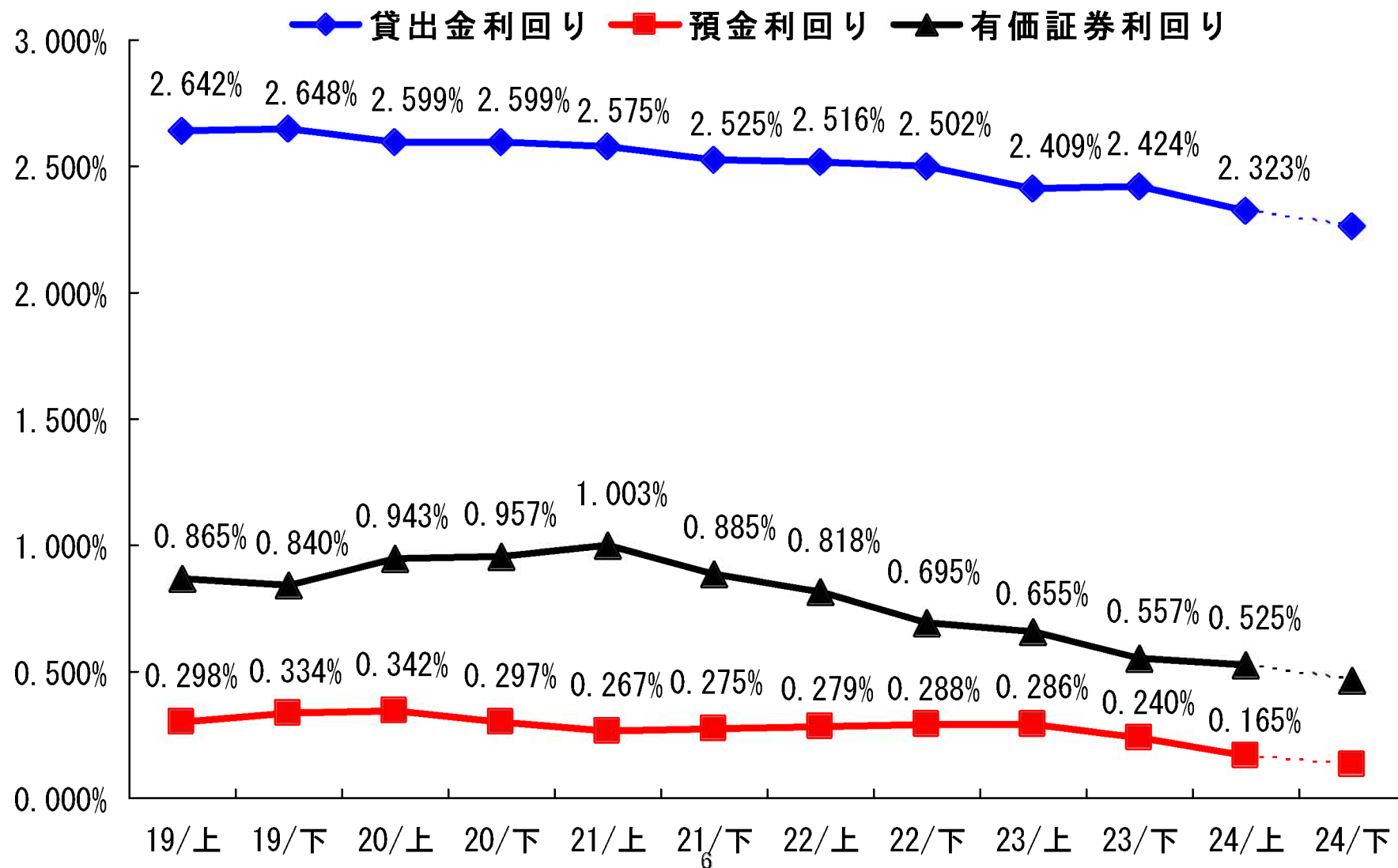
コア業務純益前年同期比増減要因

(百万円)



利回りの推移

利回りの推移



■ 中間純利益

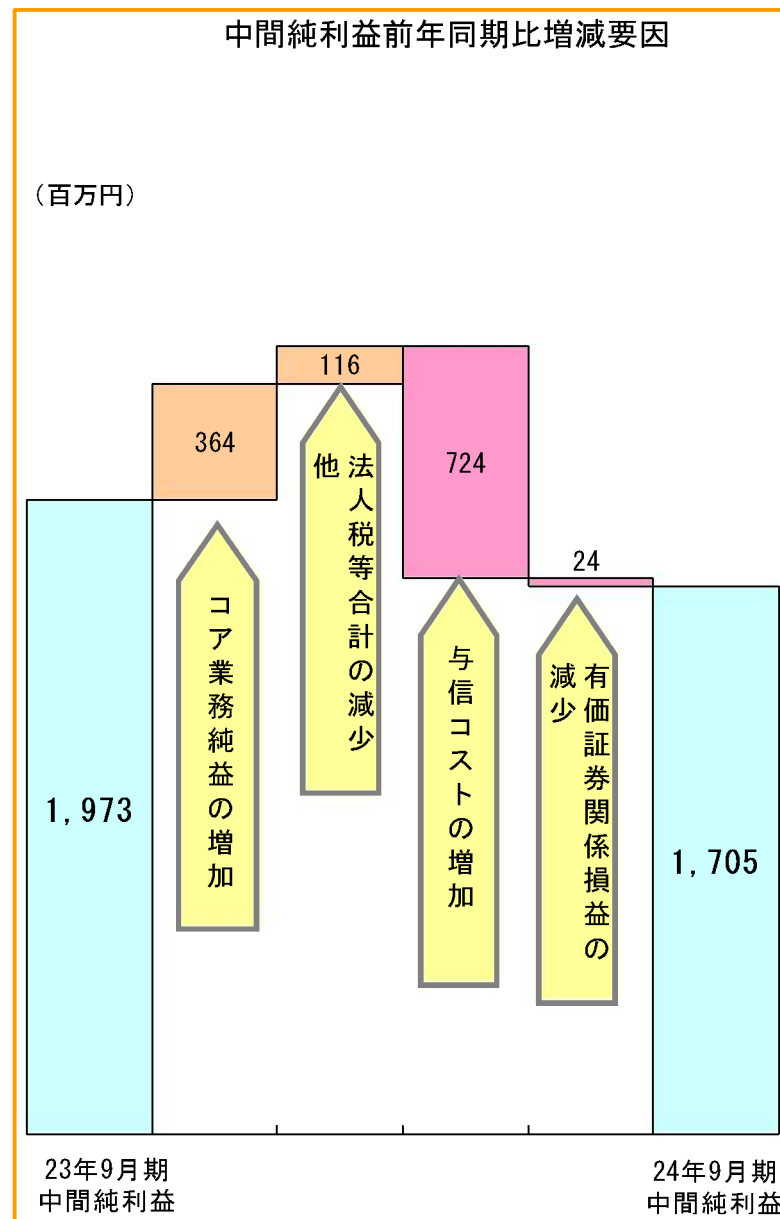
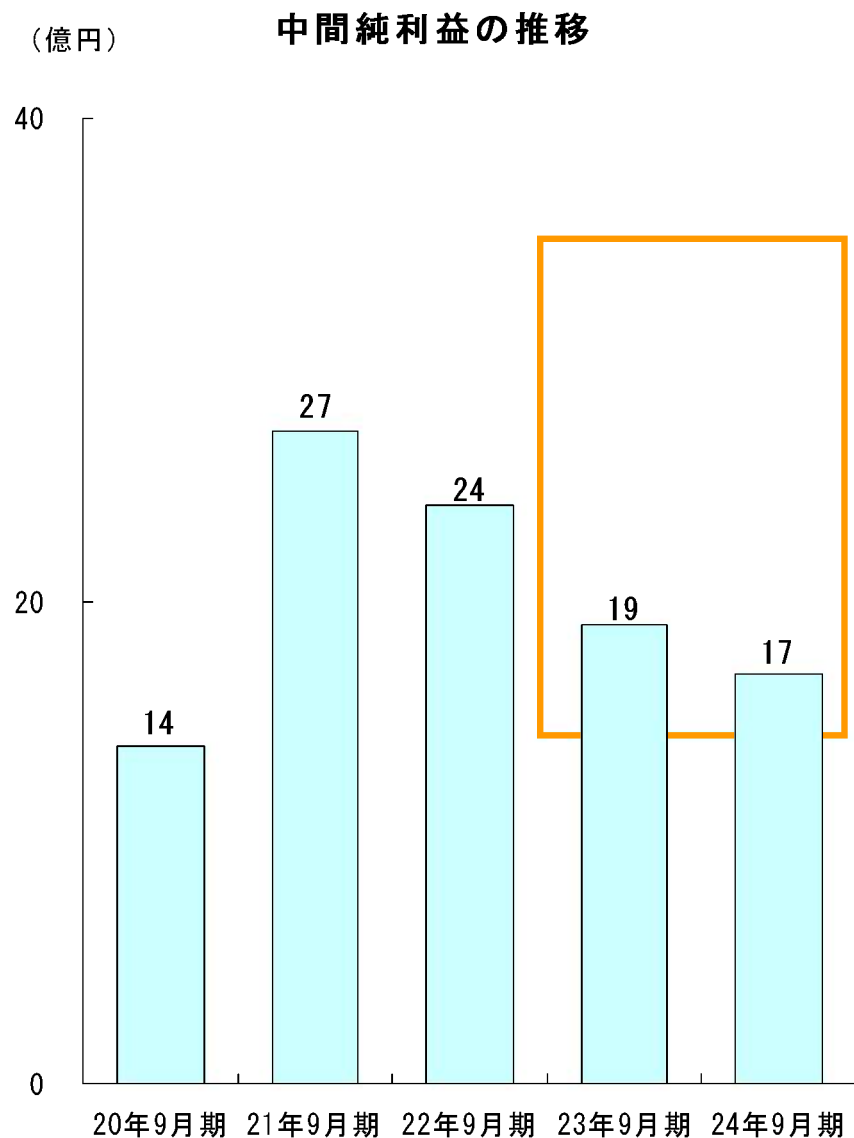
コア業務純益は増加するも、ネット与信費用の増加で減益

(単位：億円)

	24年9月期	23年9月期	増減
コア業務純益	35	31	3
株式等損益	-1	-1	0
不良債権処理額	8	5	3
貸出金償却	1	3	-2
個別貸倒引当金繰入額	5	-	5
その他	1	1	0
貸倒引当金戻入益	-	6	-6
償却債権取立益	3	2	0
経常利益	31	35	-3
税引前中間純利益	31	34	-3
法人税等合計	14	15	0
中間純利益	17	19	-2
ネット与信費用	3	-3	7

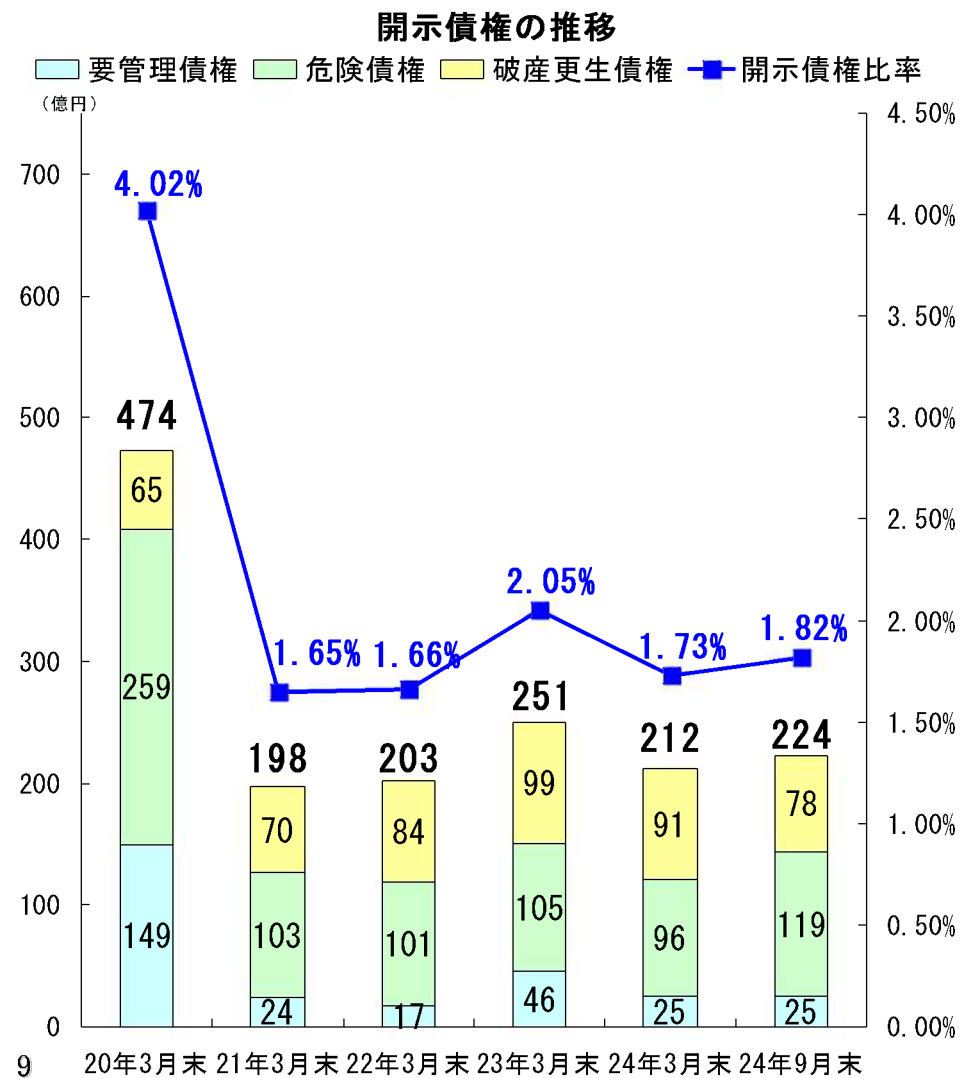
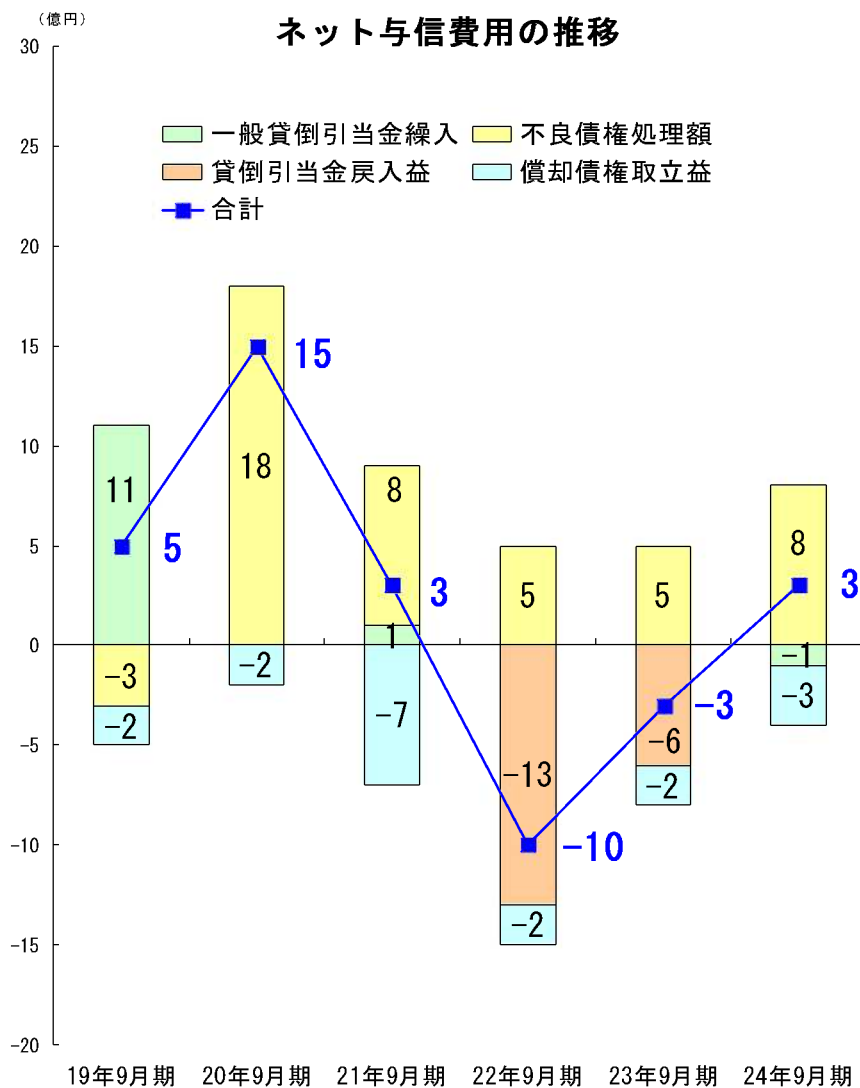
「ネット与信費用」＝「一般貸倒引当金繰入」＋「不良債権処理額」－「貸倒引当金戻入益」－「償却債権取立益」

■ 中間純利益の増減要因



■ 与信コスト

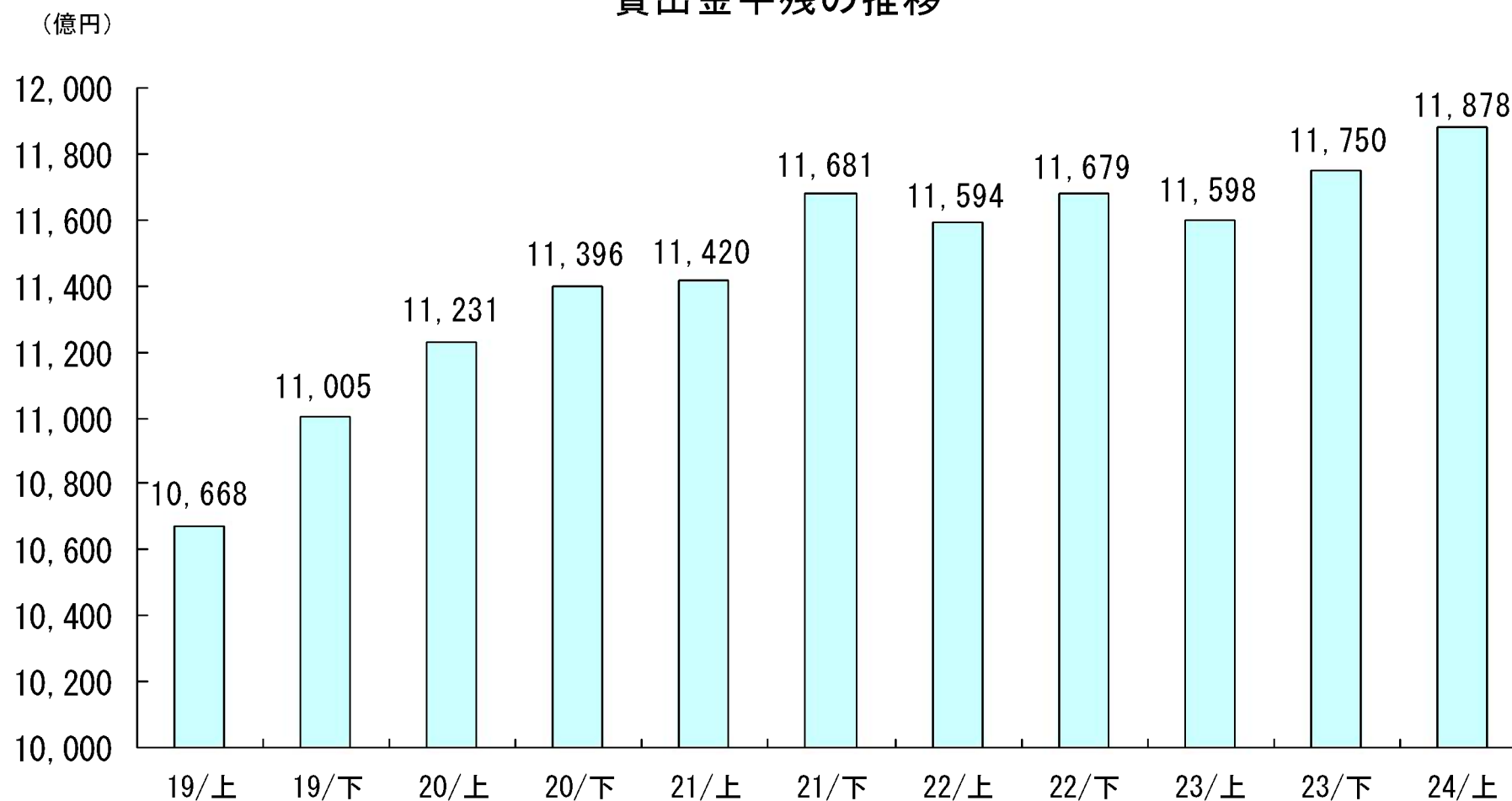
ネット与信費用は前年発生した戻入益の反動で増加するも低水準を維持



■貸出金

事業性の資金需要が伸び悩むなか、住宅ローンやアパートローン（業種は不動産業）が引き続き好調に推移し、平残は23年度上半期比2.4%増加

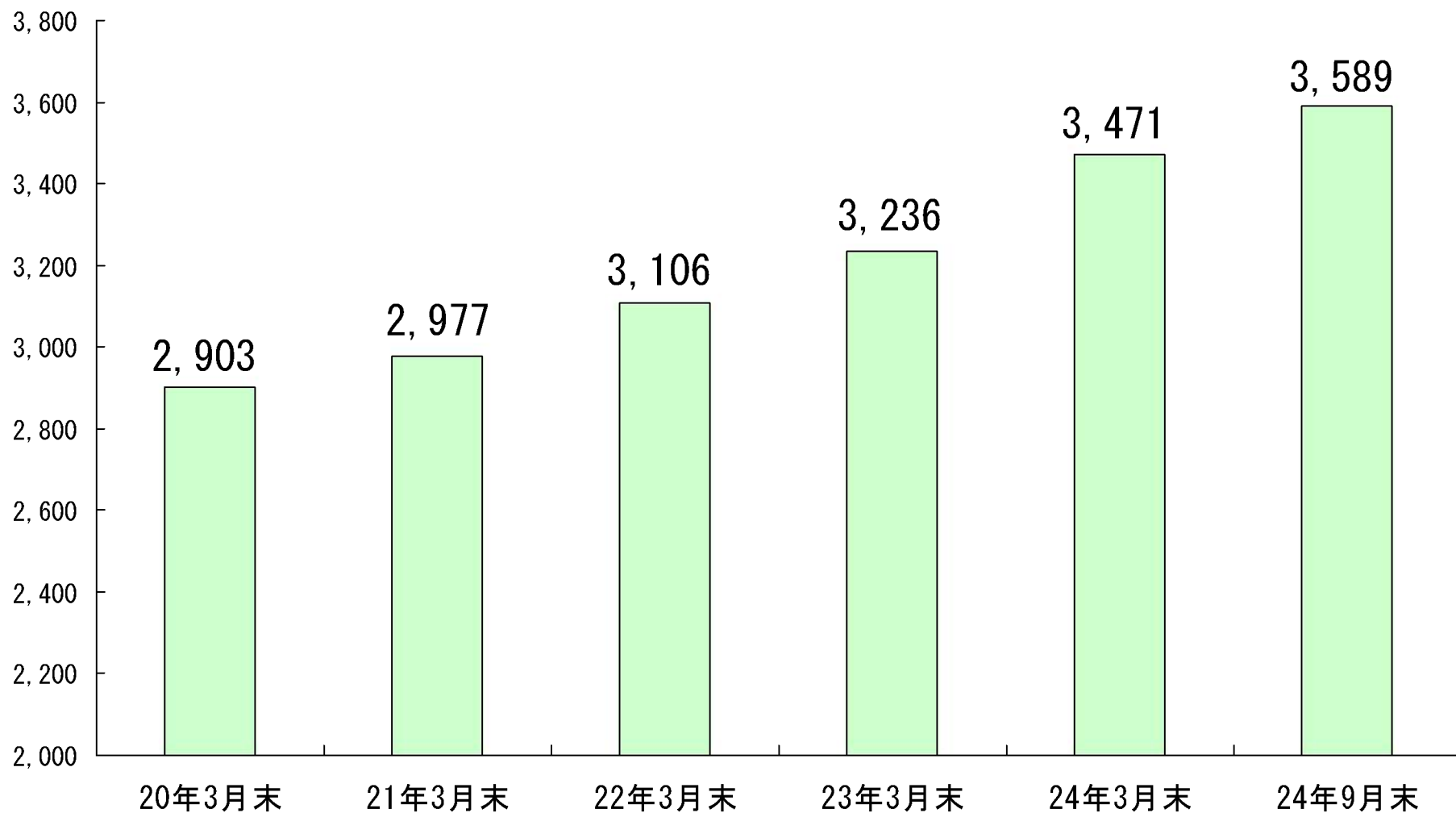
貸出金平残の推移



■ 住宅ローン

(億円)

住宅ローン（末残）の推移

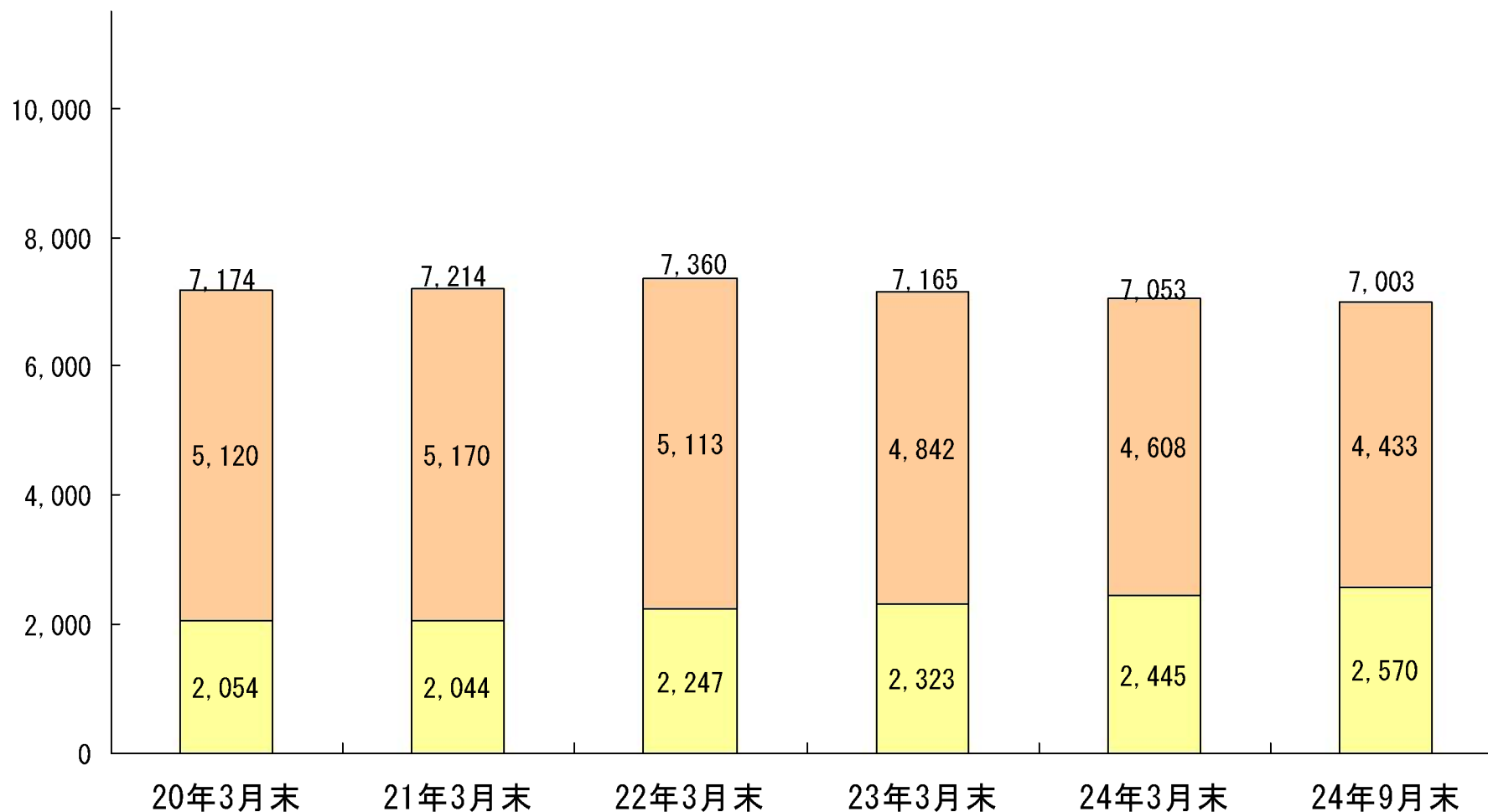


■ 事業性貸出金

(億円)

事業性貸出金（末残）の推移

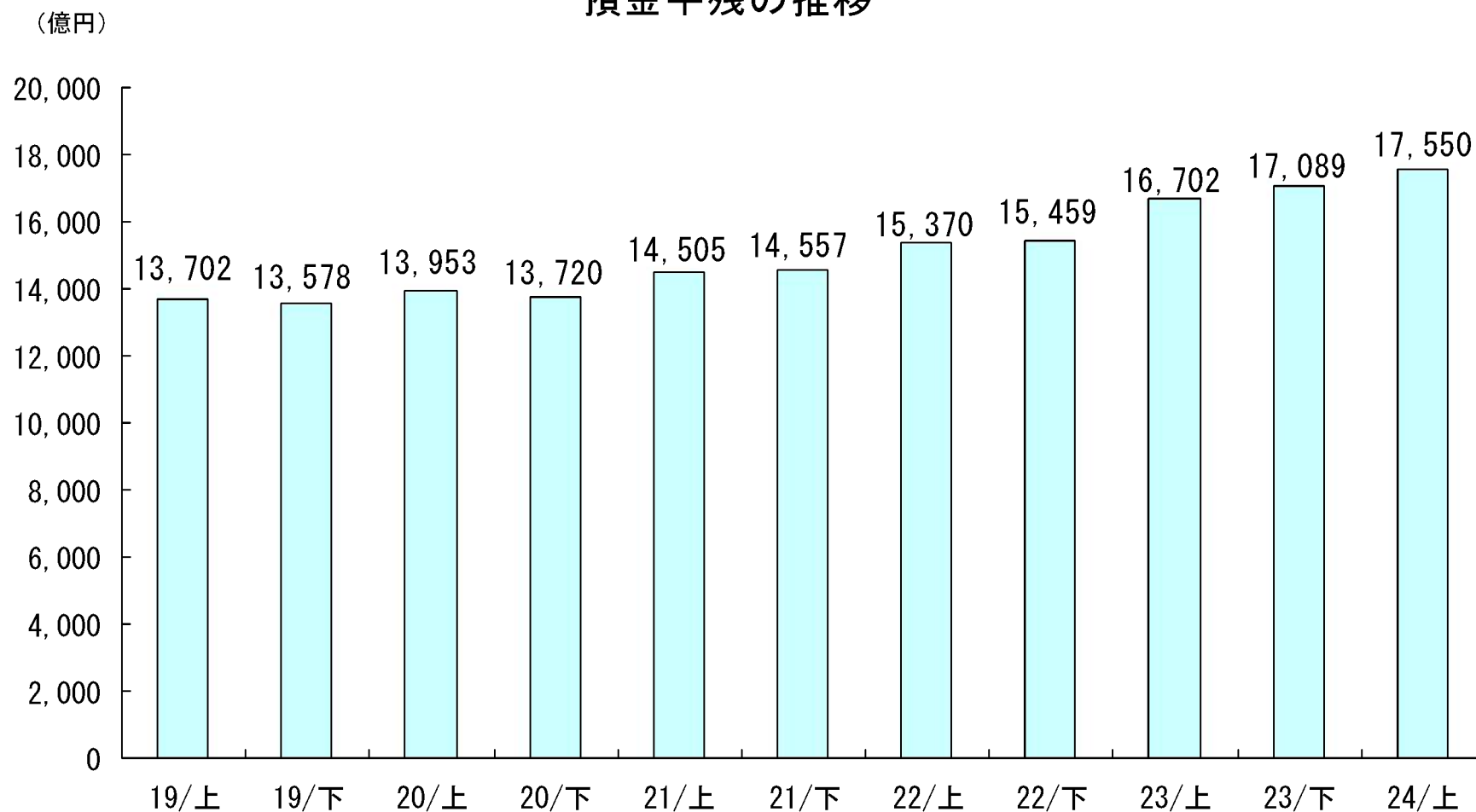
□ 不動産業（アパートローン含む） □ その他業種



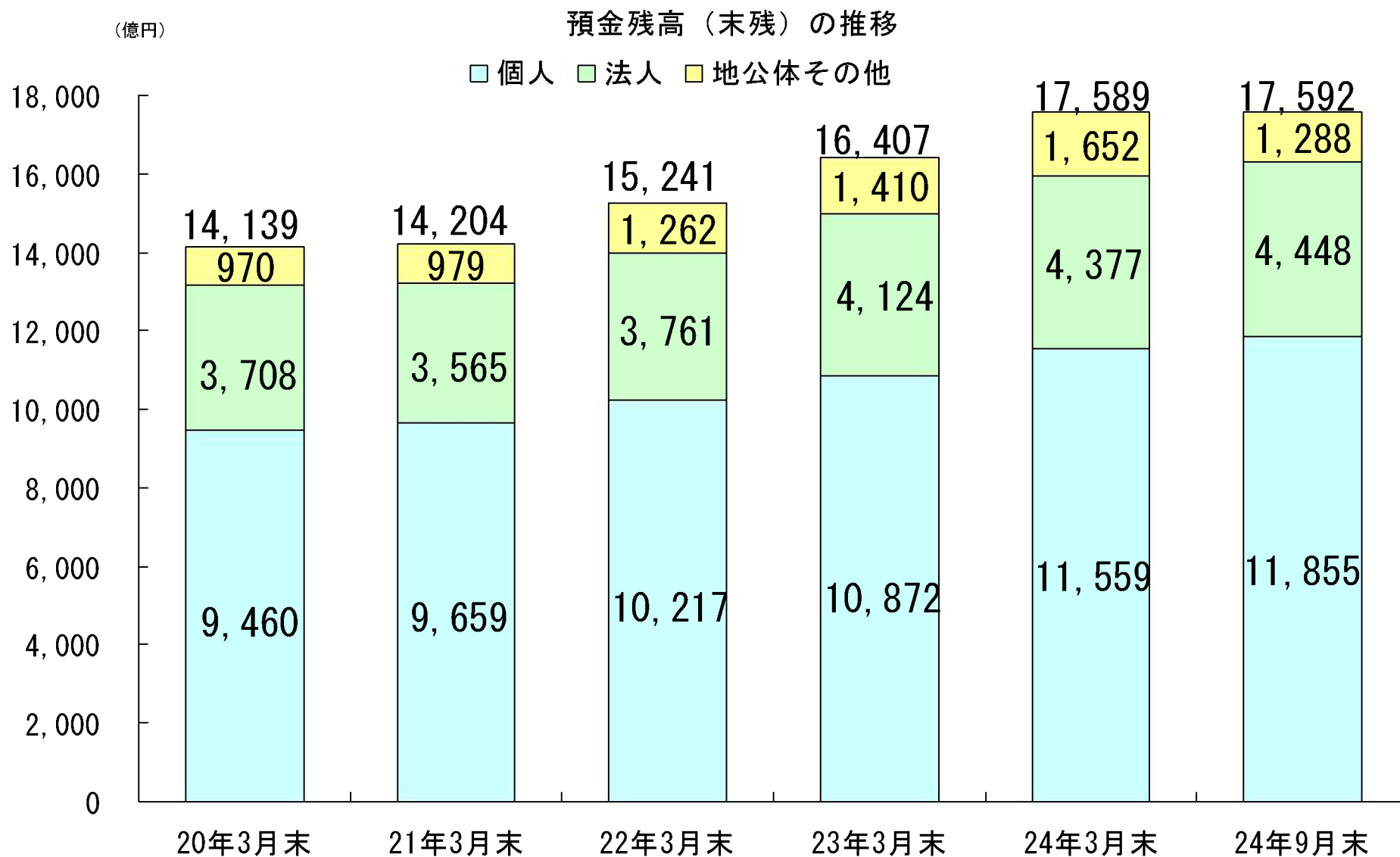
■ 預金

個人預金、法人預金とも引き続き好調に推移し、預金平残は1兆7,500億円を突破。

預金平残の推移

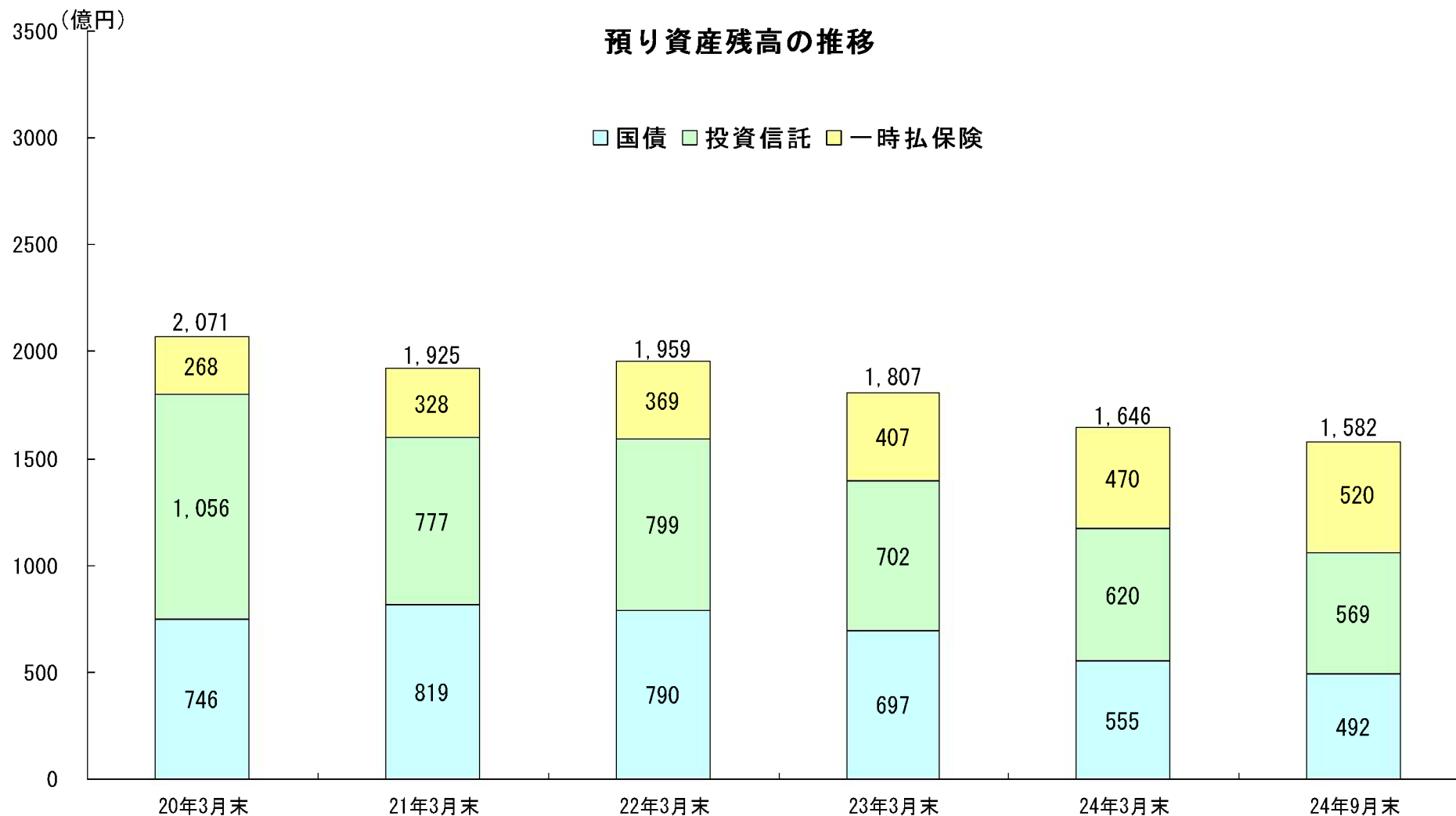


■ 人格別預金残高



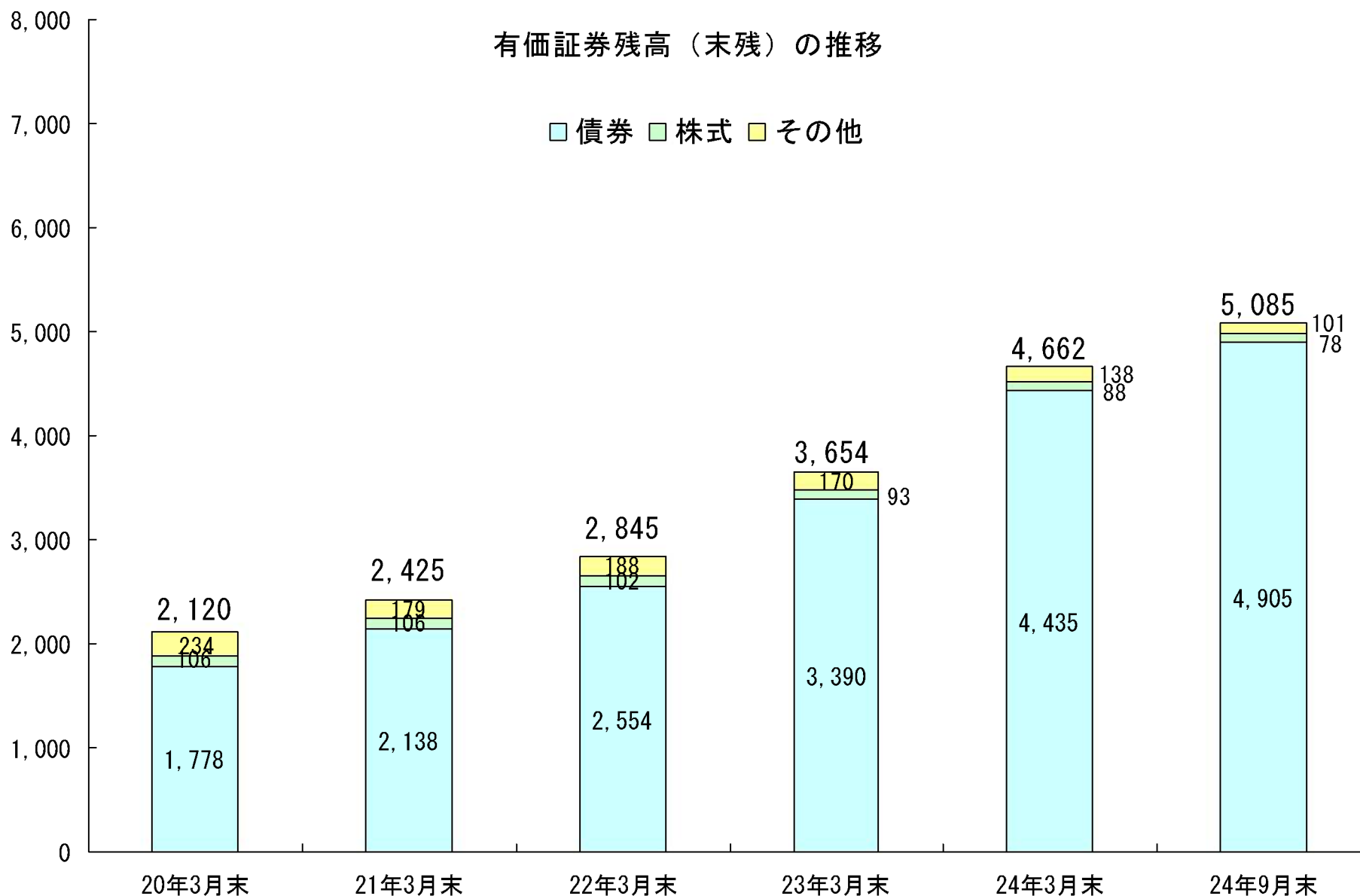
■ 預り資産

個人年金保険等一時払い保険が順調に推移



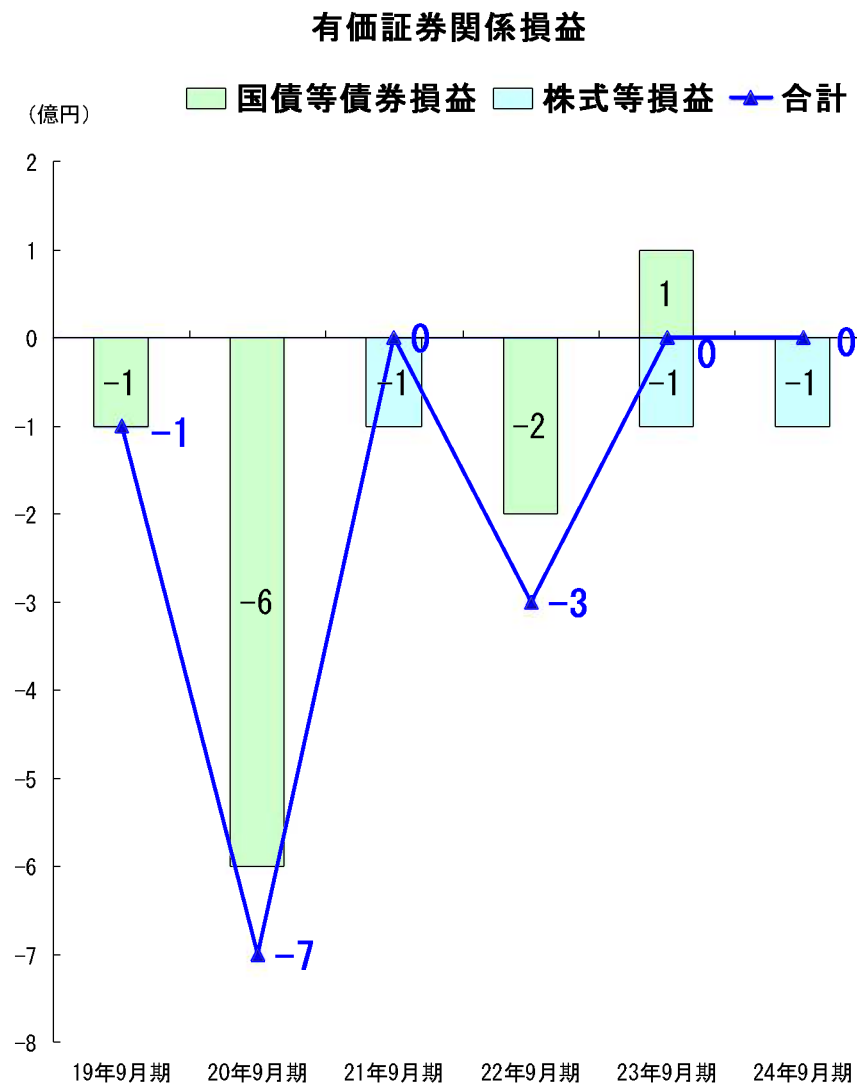
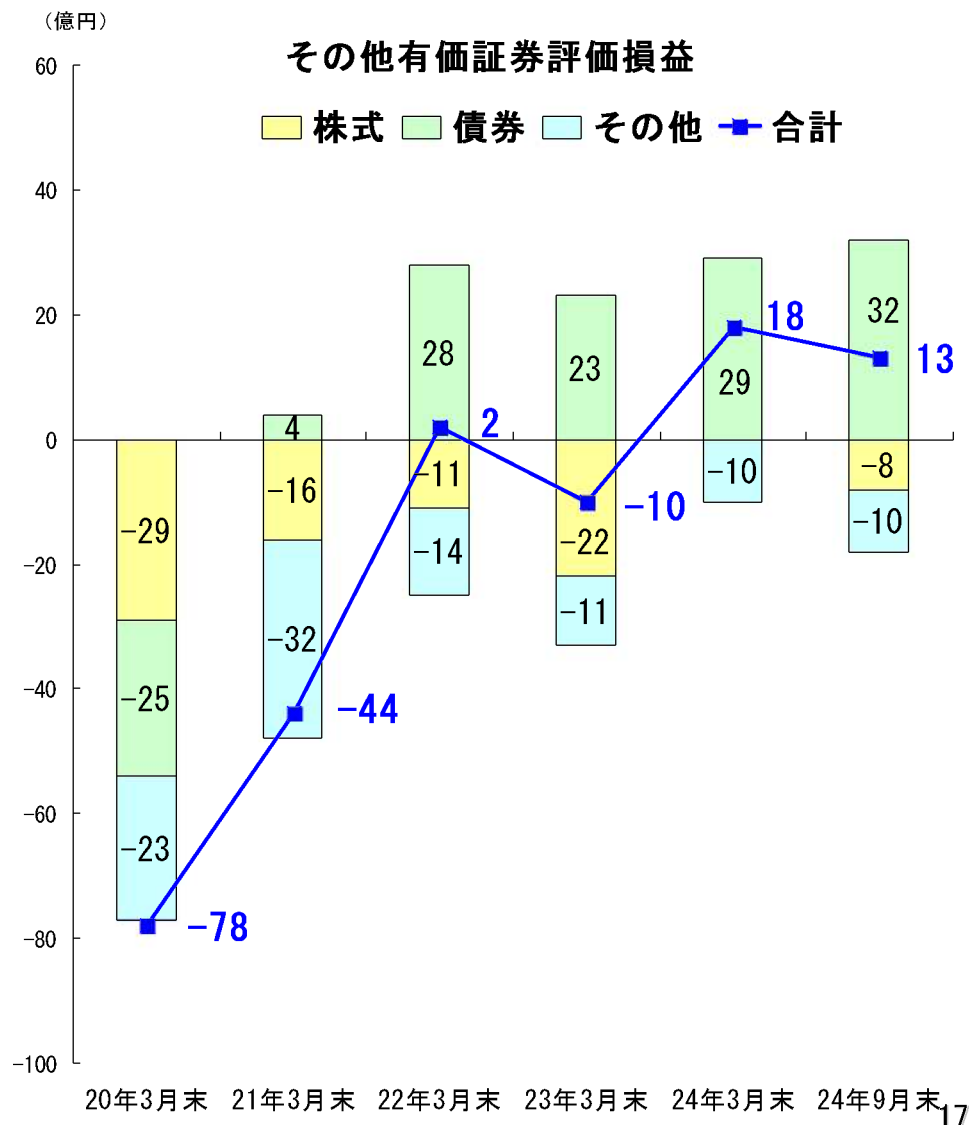
一時払保険：一時払個人年金保険、一時払終身保険、一時払医療保険

■ 有価証券



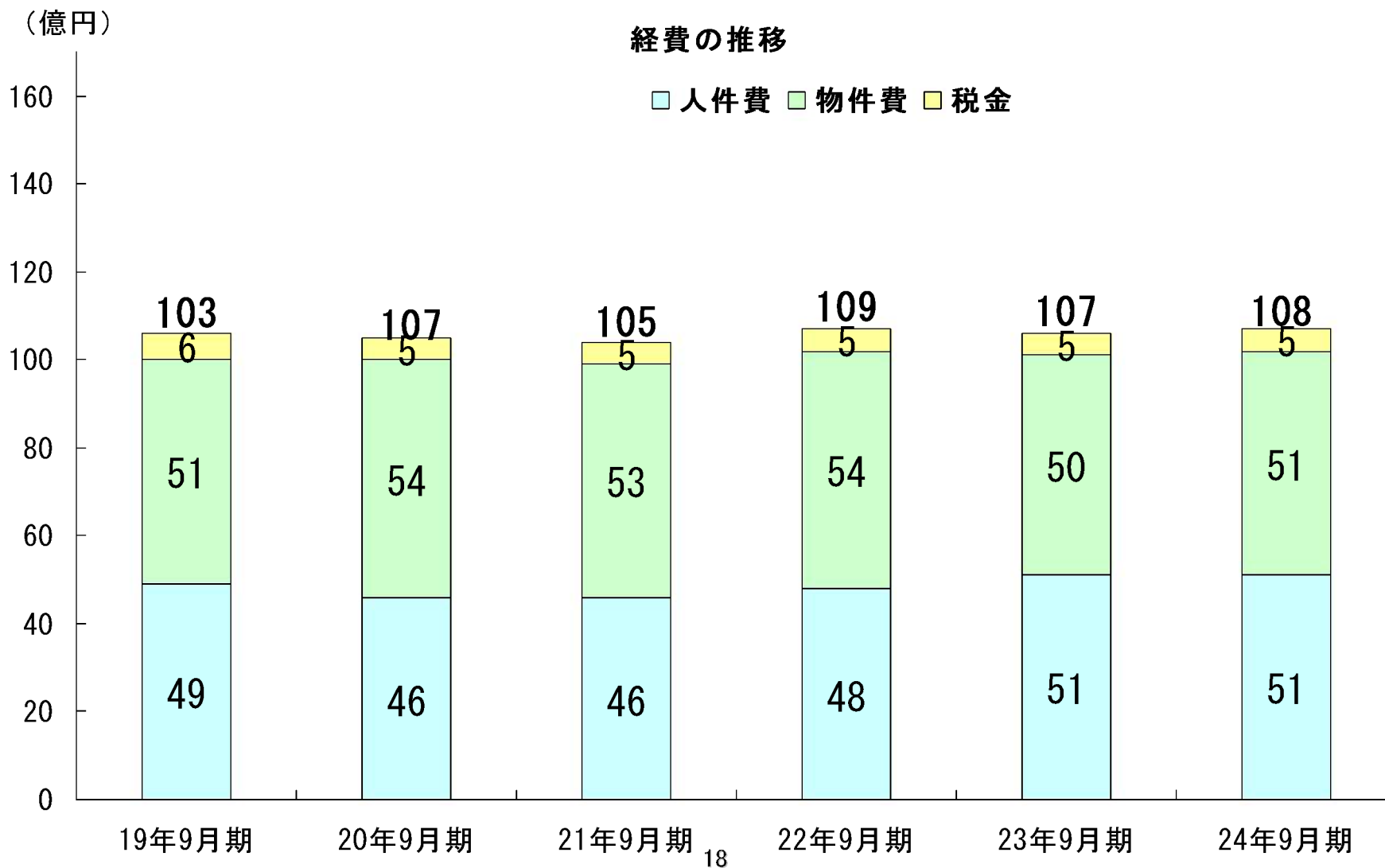
■ 有価証券関係損益

株式市場の低迷などにより評価益は減少



■ 経費

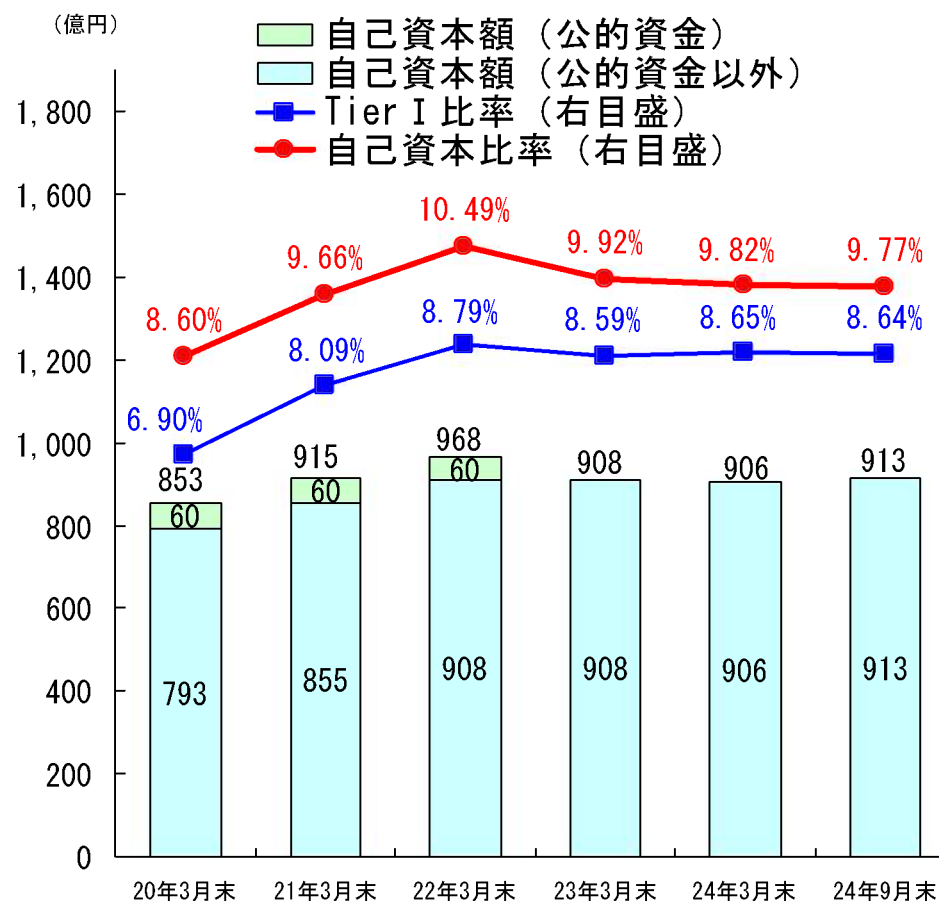
経費は前期並み水準



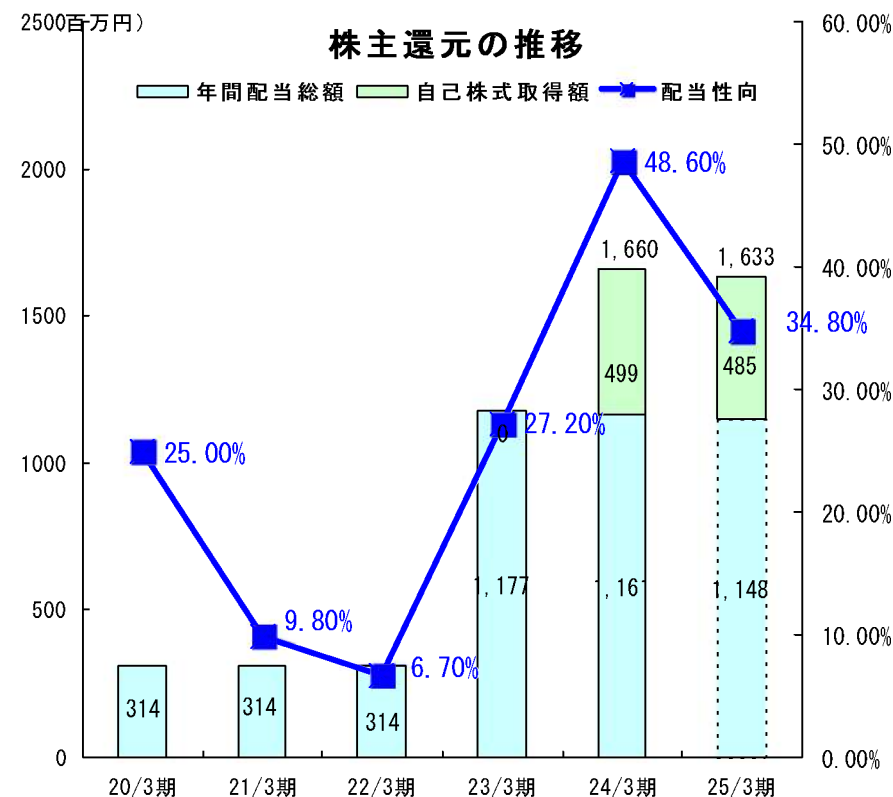
■ 自己資本比率

順調に利益を積み上げるも、貸出金等リスクアセットの増加などにより自己資本比率はほぼ前期末並み水準

自己資本比率の推移



株主還元の推移



	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期
1株当たり中間配当(円)	0	0	0	8	15	15
〃 期末配当(円)	8	8	8	22	15	15(予想)
〃 年間配当(円)	8	8	8	30	30	30
年間配当総額(百万円)	314	314	314	1,177	1,161	1,148(予想)
自己株式取得額(百万円)	0	0	0	0	499	485
総株主還元額(百万円)	314	314	314	1,177	1,660	1,633(予想)

<自己株式取得>・23年4月～5月：499百万円（50万株）

・24年5月～7月：485百万円（50万株）

■25年3月期業績の見通し

24年5月に公表した予想値からの変更ありません

(単位：億円)

	25年3月期 予想	24年3月期 実績	24年3月期比
経常収益	363	391	-28
コア業務純益	68	69	-1
経常利益	50	52	-2
当期純利益	30	23	+7
ネット与信コスト	17	-3	+20
開示債権比率	1%台後半	1.73%	-

■本資料について

本資料に係るお問い合わせ先

株式会社 琉球銀行 総合企画部

Tel : 098-860-3787

Fax : 098-862-3672

e-mail : ryugin@ryugin.co.jp

本資料は、お断りのない限り単体ベースのデータとなっています。

本資料は、公表データの作成要領に基づき、項目ごとに単位未満切捨てで表示しているため、項目ごとの値と合計とが合わない場合があります。また、前期比等の増減値は表上の値から算出し、増減率等の比率は原数値により算出した値を四捨五入で表示しております。

本資料には、当行に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する情報（将来情報）が含まれています。これら将来情報は、あくまで平成24年11月12日現在において入手可能な情報に基づいて判断されたものであり、将来の業績等を保証するものではありません。また、将来情報の記述には一定の前提・仮定を使用しておりますが、かかる前提・仮定は客観的には不正確であったり、将来実現しない可能性があります。その原因となるリスクや不確実性には様々なものが含まれますが、その詳細については当行の決算短信や有価証券報告書等をご参照ください。なお、当行は本資料に含まれる将来情報の更新はいたしません。